

21002	<h2 style="text-align: center;">社会福祉概論</h2> <p style="text-align: center;">An Introduction to Social Welfare</p>		1年次～ 通年 4単位		
担当者	沼田 正人	履修可能学科	W必		
		関連資格	福祉主・社福士必(W)		
サブタイトル	社会福祉入門				
授業内容 ・ ねらい	<p>ようこそ生活科学部人間福祉学科へ。この『社会福祉概論』は、これから社会福祉を学び始めるために必要な社会福祉の基礎的知識を身につけることを目的としています。</p> <p>社会福祉とは何か、社会福祉に興味や関心をもってもらうことを主眼にします。私たちは誰でも他者の支援を受けたり社会の制度を利用することによって生活が成り立っています。社会福祉は私たちに身近で関わりの深い学問です。</p>				
授業計画	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス（授業の進め方、授業の評価方法）</li> <li>2. 家族・地域の衰化（家族や地域社会の変化に伴う福祉問題）</li> <li>3. 社会福祉とは何か（福祉用語の意味、福祉の概念）</li> <li>3. 日本国憲法と社会福祉（生存権、幸福追求権）</li> <li>4. 社会福祉の理念（ノーマライゼーション、自立支援、バリアフリー）</li> <li>5. 社会福祉の歴史（諸外国）</li> <li>6. 社会福祉の歴史（日本①古代～近代）</li> <li>7. 社会福祉の歴史（日本②大戦後～現代）</li> <li>8. 社会福祉ニーズとその変容</li> <li>9. 社会福祉ニーズの把握</li> <li>10. 社会福祉サービスの供給方法（施設福祉）</li> <li>11. 社会福祉サービスの供給方法（在宅福祉）</li> <li>12. 社会福祉従者と専門職倫理</li> <li>13. 社会福祉援助技術の意義と体系</li> <li>14. 社会福祉の法としくみ</li> <li>15. 前期のまとめ</li> </ol> </td> <td style="width: 50%; border: none; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>16. わが国の社会保障の体系</li> <li>17. 生活保護の実施体系、原理と原則</li> <li>18. 生活保護の種類と内容</li> <li>19. 高齢者福祉の理念、実施体系</li> <li>20. 老人福祉法の概要、高齢者医療制度の概要</li> <li>21. 介護保険制度の概要</li> <li>22. 介護保険のサービス体系、ケアマネジメント</li> <li>23. 障害者福祉の概念と分類</li> <li>24. 障害者福祉の法律と実施体制</li> <li>25. 児童・家庭福祉の概要</li> <li>26. 児童・家庭福祉の法律と実施体制</li> <li>27. 地域福祉の理念と活動</li> <li>28. マッピング技法</li> <li>29. 社会福祉を取り巻く現状と課題</li> <li>30. まとめ</li> </ol> </td> </tr> </table>			<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス（授業の進め方、授業の評価方法）</li> <li>2. 家族・地域の衰化（家族や地域社会の変化に伴う福祉問題）</li> <li>3. 社会福祉とは何か（福祉用語の意味、福祉の概念）</li> <li>3. 日本国憲法と社会福祉（生存権、幸福追求権）</li> <li>4. 社会福祉の理念（ノーマライゼーション、自立支援、バリアフリー）</li> <li>5. 社会福祉の歴史（諸外国）</li> <li>6. 社会福祉の歴史（日本①古代～近代）</li> <li>7. 社会福祉の歴史（日本②大戦後～現代）</li> <li>8. 社会福祉ニーズとその変容</li> <li>9. 社会福祉ニーズの把握</li> <li>10. 社会福祉サービスの供給方法（施設福祉）</li> <li>11. 社会福祉サービスの供給方法（在宅福祉）</li> <li>12. 社会福祉従者と専門職倫理</li> <li>13. 社会福祉援助技術の意義と体系</li> <li>14. 社会福祉の法としくみ</li> <li>15. 前期のまとめ</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>16. わが国の社会保障の体系</li> <li>17. 生活保護の実施体系、原理と原則</li> <li>18. 生活保護の種類と内容</li> <li>19. 高齢者福祉の理念、実施体系</li> <li>20. 老人福祉法の概要、高齢者医療制度の概要</li> <li>21. 介護保険制度の概要</li> <li>22. 介護保険のサービス体系、ケアマネジメント</li> <li>23. 障害者福祉の概念と分類</li> <li>24. 障害者福祉の法律と実施体制</li> <li>25. 児童・家庭福祉の概要</li> <li>26. 児童・家庭福祉の法律と実施体制</li> <li>27. 地域福祉の理念と活動</li> <li>28. マッピング技法</li> <li>29. 社会福祉を取り巻く現状と課題</li> <li>30. まとめ</li> </ol>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス（授業の進め方、授業の評価方法）</li> <li>2. 家族・地域の衰化（家族や地域社会の変化に伴う福祉問題）</li> <li>3. 社会福祉とは何か（福祉用語の意味、福祉の概念）</li> <li>3. 日本国憲法と社会福祉（生存権、幸福追求権）</li> <li>4. 社会福祉の理念（ノーマライゼーション、自立支援、バリアフリー）</li> <li>5. 社会福祉の歴史（諸外国）</li> <li>6. 社会福祉の歴史（日本①古代～近代）</li> <li>7. 社会福祉の歴史（日本②大戦後～現代）</li> <li>8. 社会福祉ニーズとその変容</li> <li>9. 社会福祉ニーズの把握</li> <li>10. 社会福祉サービスの供給方法（施設福祉）</li> <li>11. 社会福祉サービスの供給方法（在宅福祉）</li> <li>12. 社会福祉従者と専門職倫理</li> <li>13. 社会福祉援助技術の意義と体系</li> <li>14. 社会福祉の法としくみ</li> <li>15. 前期のまとめ</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>16. わが国の社会保障の体系</li> <li>17. 生活保護の実施体系、原理と原則</li> <li>18. 生活保護の種類と内容</li> <li>19. 高齢者福祉の理念、実施体系</li> <li>20. 老人福祉法の概要、高齢者医療制度の概要</li> <li>21. 介護保険制度の概要</li> <li>22. 介護保険のサービス体系、ケアマネジメント</li> <li>23. 障害者福祉の概念と分類</li> <li>24. 障害者福祉の法律と実施体制</li> <li>25. 児童・家庭福祉の概要</li> <li>26. 児童・家庭福祉の法律と実施体制</li> <li>27. 地域福祉の理念と活動</li> <li>28. マッピング技法</li> <li>29. 社会福祉を取り巻く現状と課題</li> <li>30. まとめ</li> </ol>				
教科書 参考書	教）『社会福祉学習双書』（編集委員会編）『社会福祉概論』2010（全国社会福祉協議会）、『社会福祉小六法』（ミネルヴァ書房） 参）山縣文治・岡田忠克編『よくわかる社会福祉』（ミネルヴァ書房）				
評価方法	授業中の参加態度、通常の授業の中での小テスト・提出物。中間・期末とも試験を行います。				
事前準備学習 履修条件等	生活科学部人間福祉学科の必修科目です。そのため受講生の数も多く、授業中の提出物も多いため、受講の際の席順は学籍番号順とします。				